



「紅い実ト犬」2017年 絹本彩色 6号P



海老 洋

えび・よう 1965年山口県生まれ。95年東京藝術大学大学院博士後期課程単位取得退学。

作品購入の目安/号= 6万円

Information □□□□□ (00/00~00/00・会場)、□□□□□ (00/00~00/00・会場)

犬の絵と猫の絵を同じ個展会場に並べると、どっち派かとよく聞かれます。どちらに与するかはあまり考えませんが、画中の猫は気楽で自由な振舞いで、犬は困っていたり、歯を剥いていたりが多いので、“自由な猫に憧れる犬” 寄りなのかもしれません。(海老)

古画や諺にインスパイアされた、やわらかな線描による何ともいえない動物をモチーフにした作品が人気の海老作品。窮屈そうに首をまげて牙を剥く犬と、家。昼夜、あるいは陰陽といったイメージを想起させる二色に分かれた構成がまたリズムカルで不思議な余韻をのこす。(編集部)



「猿」6号F



田尾 憲司

たお・けんじ 1967年広島県生まれ。93年東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業。

取り扱い画廊/ Gallery Seek、大雅堂、ギャラリー萌、新生堂

作品購入の目安/号= 6万円

Information 個展? (2/14~20・西武池袋本店、2/28~3/6・ジェイアール名古屋タカシマヤ、8/29~9/4・日本橋三越本店)

琳派や江戸絵画にある日本画の流れを意識して作品に取り組んでいます。岩絵具や金銀箔や金属泥を用いて、それらにしか出せない絵具の素材感を情感などの世界観に見せるよう工夫しているつもりです。できるだけ描かない見せない、見る人に思わせて感じさせるような画面を創っていきたくです。(田尾)



「月夜」33.3×53.0cm



川嶋 渉

かわしま・わたる 1966年京都府生まれ。89年京都精華大学芸術学部造形学科日本画コース卒業。

取り扱い画廊/丸栄堂、梅軒画廊、ギャラリーぐんじ
作品購入の目安/号= 8万円

Information □□□□□ (00/00~00/00・会場)、□□□□□ (00/00~00/00・会場)

澄んだブルーを基調に心象表現ともいえるパリエーションを見せる水面の画で知られる川嶋だが、近年は一方で実験的ともいえる水墨表現を幅広く発表している。激しく雲の行き交う満月の夜空であろうか。あるいは北方の白夜の太陽にも通じる。抽象表現ともとれる捉みどころのない静寂の情景は、見るものに尽きることない想念をかきたてる。(編集部)



「田ンボンニ咲ク」2017年 20号P



齋 正機

さい・まさき 1966年福島県生まれ。94年東京藝術大学大学院修了。

取り扱い画廊/ギャラリー和田、新生堂、日動画廊
作品購入の目安/号= 8万円

Information □□□□□ (00/00~00/00・会場)、□□□□□ (00/00~00/00・会場)

ぽつりと降り出す雨。田んぼの畦道の中に、子どもたちが開く五色の傘。水を得て鮮やかに色づく新緑に、遠くで汽車が煙を吐く……。そんな景色が俯瞰され、何とも言えない詩情とノスタルジーを醸す画だ。特有のあたたかみあるタッチと鮮やかな色彩で、叙事詩的ともいえる世界観を展開する齋の、2017年の個展に出品した画である。(編集部)